

# えんだより

2019年  
6月号



NO. 159  
シャローム三育保育園

## 夏の水遊びについて

今年もすでに真夏の気温を記録しました。今年も暑い夏が予想されますが、少しでも快適に園生活を過ごすためにもどろんこやプールなどの水遊びを取り入れながら保育を行っていきたく思います。保育園運営において、様々な場面での判断基準となるものに「保育所における感染症対策ガイドライン」(厚生労働省 2018年改訂版)があります。その中でプール遊びに関して「排泄が自立していない乳幼児は、個別のタライ等を用いてプール遊びを行い、他者と水を共有しないように配慮する」とあります。当園においても0、1、2歳児クラスはプールを使用しない水遊びを行うこととなります。また、幼児クラスにおいても同様に対応していきますので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。詳しくはクラスからのお知らせをご確認ください。

安全に配慮しながら、楽しく暑い夏を過ごせるようにしていきたいと思っております。

園長 村上 渉

掲示板練習メッセージ6月1日頃配信いたします



## 今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 礼拝	4 体操教室	5	6 英語教室(3.4.5歳児)	7 保育参観・懇談会	8
9	10 礼拝 時計屋さん	11 体操教室	12	13 英語教室(3.4.5歳児)	14 絵本読み聞かせ(4歳児)	15
16	17 礼拝	18 体操教室	19 避難訓練	20 英語教室(4.5歳児)	21	22
24 /30	24 礼拝 じゃがいも堀り (5歳児) クッキング (4.5歳児)	25 体操教室 尿検査回収 (幼児)	26 誕生会	27 歯科健診	28 保育園職員会 クッキング(4歳児)	29



## 「食を通じて季節を感じる」

日が伸びて、日差しも強くなりパッと明るい季節になりました。すでに気温の高い日がありましたが、梅雨入り前の貴重な晴れ間を楽しく過ごしたいですね。皆さんはどんな時に季節を感じますか？カレンダー、気温お天気、お花や野菜など植物でしょうか。

私事ですが、最近“昔”(小学生ぐらい)のことを思い起こすことが多くなりました。「この季節は何してたかな、どんな事して遊んでたかな」と回想しながら“今”と比較しています。

私が育ったところは横浜よりも季節が約1か月遅れてきます。桜の見頃は4月の下旬ですし、山菜も5月に入ってからタケノコやワラビ、フキなどの山菜が採れます。山菜はその時期にしか採れないので沢山取れば、近所に配り、残れば塩漬け等の保存食にします。田植えは6月で親戚の農家の田植えに皆で手伝いに行ったことを思い出します。夏はテレビのワンシーンのように学校帰りに畑でトマトやキュウリをもちで食べました。もぎたてを食べたことがある方はわかると思いますが、独特の香りと瑞々しさがありそのまま何もつけなくてもとても美味しいですね。秋から冬にかけて収穫する野菜は“室”に貯蔵したり、干したり漬物にしたり、豆類は乾燥させて冬に備えました。味噌や醤油も自家製でした。あの頃は畑仕事の手伝いばかりで、いやな時もありましたが今では貴重で贅沢な生活をしていたと両親に感謝しています。

今年も食育の一環として幼児組を中心に野菜作りが行われています。子どもたち自身で苗を植えから水やり、草とりなど一生懸命頑張っています。どんな季節にどんな野菜がどんなふうにできるのか、初めて経験することも多く、たくさんの発見があります。今では一年中何でも手に入る時代ですが、自分が育てて収穫

した旬の野菜の味はきっと格別でしょう。せっかく四季のあるこの国に住んでいるのですから、食文化を通して移り行く季節を感じる豊かな感性を持った子どもに育ててほしいです。

園長

